

第14回 宇宙科学・探査小委員会 議事要旨

1. 日時：平成29年10月24日（金） 10：00－11：40

2. 場所：宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

松井座長、市川委員、小野田委員、倉本委員、藤井委員、山崎委員

(2) 事務局（宇宙開発戦略推進事務局）

高田事務局長、佐伯審議官、行松参事官、山口参事官、佐藤参事官

(3) 関係省庁

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課 谷課長

宇宙開発利用課宇宙利用推進室 庄崎室長

4. 議事要旨

(1) 宇宙科学・探査に係る平成30年度概算要求について

文部科学省から、資料1に基づき説明が行われた。説明の後、次のような議論が行われた。

○国際宇宙探査ミッションにおいて、具体的に平成30年度には何を行うのか質問があり、「深宇宙補給技術」や「有人宇宙滞在技術」など進展が見込まれる技術実証に取り組んでいく旨の説明があった。

○DESTINY⁺、JUICEにおいて人材育成を目的としたテニユアトラック制はプロジェクト経費で賄われるのか質問があり、期間中はプロジェクト経費である旨説明があった。

(2) 我が国の宇宙科学・探査の在り方について

文部科学省から、参考資料1-1～1-3、資料2-1、2-2に基づき説明が行われた。説明の後、次のような議論が行われた。

○ボトムアップ型の宇宙科学探査とトップダウン型の国際宇宙探査の整合を取るべき旨のコメントがあった。

○国際宇宙探査に係る予算について質問があり、将来の話ではあるが、現在の国際宇宙ステーション関係の予算を念頭に置きつつ、全体経費が過大にならないよう調整していく必要がある旨説明があった。

○宇宙航空研究開発機構が取りまとめたロードマップについて、必要に応じた改訂を検討すべき、とのコメントがあった。

(3) 宇宙科学・探査に係る工程表の改訂について

事務局から説明が行われた。本日の議論を踏まえ、次回会合で該当部分の取りまとめを行うべく改訂作業を進めることとなった。

(4) その他

事務局から、今後の予定等について連絡があった。

以上